

地域の助け愛

地域の防災力を高める

問合先 危機管理課



災害対策には、

「自助」 自分自身の身の安全を守ること

「共助」 地域など周囲の人たちが協力して助け合うこと

「公助」 消防、警察、自衛隊といった行政による救助・援助の3つがあります。

大災害時は、行政が全ての被災現場に駆け付けることが困難であり、また行政自体も被災する恐れがあることから、「公助」だけでは限界を迎えてしまう場合があります。そのため、被害をできるだけ少なくするためには、「自助」と「共助」がとても重要となります。

「自助」は、食料や水等備蓄品を準備する、避難経路を確認しておくなど、何をするのかイメージしやすいですが、では「共助」とはどのようなことでしょうか。

具体的には、地域の団体（自主防災会・町会、民生委員、消防団、青年団など）が「平常時」には見守り活動、防災訓練などを行い、「発災時」には避難所の運営、安否確認、避難誘導などを行うことです。

「共助」は地域の団体がバラバラに活動する（安否確認を自主防災会・町会だけで行うなど）と成り立ちません。「連携・協力（地域の助け愛）」があつてはじめて力を発揮します。

みなさんの地域でも、地域の団体が地域のために活動しています。地域に住んでいるみなさんもその一員です。

今年の大防災訓練では、地域の防災訓練に参加してみる、安否確認タオルを出してみる、隣近所に声をかけてみるなど、一人ひとりができることを実践し、地域の一員として「共助」に参加しませんか。

上之郷地区土砂災害警戒訓練

6月23日(日)、上之郷地区において自主防災組織、消防団、民生委員が協力して訓練を実施しました。

上之郷小学校図書室で災害対策本部を立ち上げ、災害を想定した現地活動班からの報告のとりまとめや意見の交換などが行われました。

また、地区内の母山公民館でも搬送訓練や、地域にお住まいの人の安否確認訓練などが行われました。

災害対策本部設置訓練
(上之郷小学校)



母山公民館



地域の防災力向上のための研修

市では、地域の防災力向上のため、さまざまな研修を行っています。

地域防災支援員研修

市職員の避難所担当が、避難所運営の知識や資機材の取扱などを身につけるための研修として、「令和6年度 地域防災支援員研修」を8月2日(金)に開催しました。



防災士フォローアップ研修

市主催の防災士養成講座による防災士資格取得者に、災害時に役立つ情報を知り地域の活動に生かていただくため、「令和6年度 防災士フォローアップ研修」を8月3日(土)に開催しました。

